



校長挨拶 ～新年、新学期を迎えて～

あけましておめでとうございます。

令和7年が始まりましたが、1月になってからのニュースでは、阪神淡路大震災から30年という言葉をよく聞きます。児童・生徒にとっては、まだ生まれていないときのことで、何のことだろうと思うかもしれませんが、私自身は今でも、阪神淡路大震災が起こった時のことを覚えています。というのも、ちょうどその時、実はインフルエンザにかかっており、高熱で大変しんどい状態で寝ていました。そんな時に、ものすごい揺れが起こり、熱のことなんか忘れてテレビをつけたり、家の様子を見たりしました。また、兵庫県出身の大学時代の友人と、その日から連絡が取れなくなってしまったのも事実です。災害の恐ろしさを本当に感じたときでした。

さて、令和6年度の締めくくりの3学期になりました。この1年間でどのような形で締めくくるのかを考えなければなりません。特に卒業生にとっては、小学生は中学生に、中学生は高校生に、高校生は社会人という次のステップに向けての大事な時期です。自分自身で、何かをやり切ったという思いが少しでも生まれていれば、きっといいまとめになるのではないのでしょうか。

1月になってから、雪が降ったりと大変寒い日が続いています。加えて、今年はインフルエンザの大流行と、コロナウィルス感染症、ヒトメタニューモウィルス、百日咳なども広がっています。すべての対策に、体調管理に加えて手洗いと

うがいがあると言われていています。学校においても意識して取り組んでいきたいと考えていますが、御家庭でも御協力をよろしくお願いいたします。3学期にも、様々な場面で、御家庭に御協力いただくことがあるかと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



京都府立八幡支援学校
校長 尾崎 伸次

各学部 始業式・学習の様子

始業式のお話のなかで、「48」と「43」という数字が紹介され、3学期に「1～5年生」と「6年生」が学校に来る日数であることをみんなで確認しました。今年度のまとめの学期を新しい気持ちで書き初めをした1組、新たに築山の上り下りダッシュをスタートさせた2組、自分たちの力でこれまで以上に給食配膳をする3～5組など、一人一人が頑張る姿が見られます。



中学部2年生では、3学期が始まってすぐ、書き初めに挑戦しました。まずは、「はる」や「へび」、「こま」等、季節や今年の干支、正月にちなんだ文字をひとりひとり選んで練習しました。清書の時は皆緊張した様子でしたが、手本の文字を見ながら一文字一文字丁寧に書き上げることができました。素敵な作品が、出来上がりました。



3学期が始まり、それぞれの学科で学科集会が行われました。普通科は、書道パフォーマンス、思い出動画、ダンスやバンド、ハンドベル演奏、ギターの弾き語りなど、得意なことを披露して盛り上がりしました。福祉総合科は、各学年より3学期の目標を発表したり、国語の授業では合同で書き初めをし、目標や決意を書き上げました。



何かお気づきのことがありましたら、学校まで御連絡ください

TEL:075-982-7321 MAIL:yawata-s@kyoto-be.ne.jp

学校だよりのカラー版は学校ホームページに記載しております。
<http://www.kyoto-be.ne.jp/yawata-s/cms/>

